

後援会の 各種特典

■上智地球市民講座を割引料金で受講できます

2024年度は多くの後援会会員の方にご受講いただきました。お申込みの際に後援会会員情報をご入力ください。詳細は上智地球市民講座ウェブサイトをご確認ください。

上智地球市民講座HP <https://sgcp.sophia.ac.jp/>



■本学図書館が利用できます

100万冊を超える蔵書を有する四谷キャンパス中央図書館のほか、目白聖母キャンパス図書室で、図書の閲覧ができます。受付にて、後援会の会員証をご提示のうえ、ご入館ください。

※開館日・時間等の詳細は、上智大学図書館ウェブサイトをご覧ください。

■上智大学・上智大学ソフィア会(同窓会)共催講演会の聴講ができます

大学と同窓会(卒業生団体であるソフィア会)が共催の講演会に後援会会員枠にて聴講できます。開催情報につきましては、後援会ウェブサイト「後援会News」をご確認ください。

■提携ホテルの宿泊が優待料金で利用できます

ホテルニューオータニ東京、京阪グループホテル、ハートンホテル北梅田(大阪)、東急ステイを優待料金で利用できます。予約方法・詳細は、入会後にご案内いたします会員ウェブサイトをご確認ください。なお、ホテルをご利用の際は、後援会の会員証を携帯くださいますようお願い申し上げます。

■サンマルクカフェ四ツ谷駅前店の商品を1割引で購入できます

会計の際、後援会の会員証をご提示ください。

■上智大学に隣接する紀尾井ホール公演チケット(日本製鉄文化財団主催が対象)を1割引で購入できます

チケット購入方法・詳細につきましては、ご入会後にご案内いたします会員ウェブサイトをご参照ください。

入会特典



▶ 袴

後援会にご入会いただいた方には、入会特典として、大学のエンブレム入りの袴を進呈いたします。また、入会時に会費を一括で納入いただいた方には、さらに、オリジナルグッズを進呈しています。



Sophia University Parents' Association

NEWS

2025
APRIL

4月1日発行

上智大学後援会

上智大学後援会とは、1973年に父母・保証人の有志が設立した団体で、今年で52年目を迎えました。当時、海外の寄付に頼って施設を整備していたことやイエズス会所属の先生方が最低限の生活費を除いた全給与を大学に寄付していることを知り、その想いに共鳴したことが設立のきっかけです。以来、寄付の累計額は74億円を超え、奨学金の給付等様々な用途に役立てられています。

Topics

■2025年度上智大学地域懇談会について

本学では、毎年、全国各地で大学主催の地域懇談会を開催し、父母・保証人の皆様に大学の近況や学業、就職、留学などについてご説明しています。この地域懇談会には、後援会の役員も出席し、本会の活動をご紹介します。

2025年度は6月1日、6月22日、7月6日に四谷キャンパスにおいて、また地方都市10会場での開催を予定しています。詳細は大学から郵送される開催通知や大学のウェブサイトでご確認ください。

後援会会員の懇親会について

年に数回開催している懇親会では、会員同士や理事長・学長をはじめとした教員との交流を通じて親睦を深めています。同日に教員による講演会や会員限定企画も開催しており、ご好評をいただいております。2025年度もふるってご参加ください。

■2025年度後援会の主な行事(予定)

4月1日(火)	新入会員歓迎会	四谷キャンパス
5月17日(土)	総会、講演会、懇親会	
11月8日(土)	秋の懇親会、課外活動団体贈呈式 など	

上記のほか、各学年・学部ごとに1人の方に役員に就任していただき、年4回実施する役員会において、後援会の各種行事や学生への支援事業などについて審議しています。

皆様のご来場を
お待ちしております

上智大学後援会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 学校法人上智学院 総務局ソフィア連携室内
TEL. 03-3238-3127 E-mail: d-kouenkai-co@sophia.ac.jp
(平日10:00~16:00 ただし11:30~12:30を除く)

上智大学後援会のウェブサイトでは、後援会に関する様々な情報を掲載しています。是非、ご覧ください。

<https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/guarantors/parents/>



ご挨拶



上智大学後援会会長
米澤 実

上智大学へご入学された新入生ならびにご父母・保証人の皆様、このたびは誠におめでとうございます。

上智大学生となられたお子様は、元気に学生生活を送っていらっしゃるでしょうか。上智大学後援会は、在学生の父母・保証人で構成され、父母の立場からも貢献したいという想いを胸に、大学に寄り添い、より良い学生生活の実現に向けてお手伝いをしています。一例ですが、学生の健康管理を支援する「100円朝食」は人気のあるプログラムです。その他、詳しい支援内容はこのパンフレットをご覧ください。

また後援会会員の皆様には、5月の総会、秋の懇親会など親睦を深める場があり、留学の情報の共有や、ゲストとしてお迎えする先生方との懇親にご活用いただいています。イベント内容は、先生方による講演会や学生参加型企画など、様々な形式で実施しております。例えば、昨年度の秋の懇親会では、学生ガイドによるキャンパスツアーを行い、これまで後援会の支援を受けた学内施設の数々を、地方からのご参加を含む170組を超えるご家族と見学しました。後援会の支援が日々活用されている現場を見ながら、学生ガイドから直接説明を受けることで、学生生活を身近に感じることができました。

ご父母・保証人の皆様には、後援会活動へのご理解と積極的なご参加をいただき、学生への支援、会員の親睦の場として、有効にご利用いただきたく存じます。皆様のご入会、心よりお待ちしております。

日々の学び、大学生活を支える

～世界へ羽ばたくその日まで～

2024年度後援会の支援事業(報告)

○ キャンパスをより快適に使いやすく

■WEB面接用ボックス「テレキューブ」設置費用補助

就職活動でのオンライン選考の定着化を踏まえ、キャリアセンター内にテレキューブ3台を設置する費用を補助しました。スキマ時間に自身のデバイス1つでWEB面接を受けることができ、多くの学生から大変好評を得ています。



○ 経済的な不安なく学びに集中するために

■上智大学後援会奨学金

成績優秀かつ経済的に困窮している学生40人を対象に、1人あたり10万円の奨学金を給付しました。

Message 後援会奨学生からの感謝のメッセージ

留学生

文学部
国文学科
2年

この度は「上智大学後援会奨学金」の奨学生として採用していただき、心より御礼申し上げます。私の家は母国ではごく一般的な家庭ですので、日本での様々な出費は日増しに親の負担となり、経済的に余裕がない生活を送っております。後援会の皆様のご支援は本当に身に余るほどの恩恵であると思いつつ、厚かましくも承らせていただきたいと思います。私は文学部の国文学科に所属しており、日本の中古文学に興味を持っています。将来は研究関係の仕事をしたいと思っており、一寸でも長く文学の道に進みたい所存でございます。これからはより一層勉強に励んでまいりますので、ここで改めて後援会の皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

文学部
哲学科
3年

この度は、「上智大学後援会奨学金」の奨学生として採用していただき大変感謝しています。家庭状況の急変により、学業に専念することが難しくなっていました。私は哲学科で主に芸術・宗教哲学を学んでおり、同時に国際交流を積極的に行い、言語学習にも力を入れて勉強しています。将来は海外で哲学科での学びを活かした仕事をしたいと考えています。哲学は他の学問と異なり、即効性のある学問とは言えないかもしれませんが、私の人生の中で欠かせないものです。最後に、このように現在経済的に心配なく大学に通い、将来に向けて勉強ができること、改めて皆様に感謝を申し上げます。

理工学部
物質生命理工学科
2年

この度は「上智大学後援会奨学金」の奨学生として採用していただき、心から感謝しております。私は母子家庭で育ち、大学在学中に母が病気により退職したことで家計が急変し、経済的に不安がありました。しかし、後援会の皆様をはじめとした多くの方々のご支援のおかげで、現在では安心して大学に通うことができいております。私は情報理工学科に所属し、主に数学やプログラミングについて学んでいます。2年間学びを深める中で、新たな知識やプログラミングのスキルを身に付ける度に、私は上智大学という素晴らしい環境で学べる喜びを感じ、先生方や充実した設備のおかげで、日々充実した大学生活を送ることができております。重ね重ね感謝申し上げます。

■上智大学後援会派遣交換留学生奨学金

海外留学の意欲が高いにも関わらず、経済的理由によって留学が困難と認められる学生若干名に対し、留学に係る費用の一部を奨学金として給付しました。

■美術館・博物館等利用特典制度年会費補助

東京国立博物館、国立科学博物館、国立美術館などを割引料金または無料で利用できる利用特典制度の年会費を補助しました。

■留学カウンセラー・英語学習アドバイザー配置費用補助

留学相談や言語学習援助を行う専門カウンセラーの配置費用を補助しました。

■学部生向け基本図書・教養書の購入

学生・職員が選んだ605冊の図書購入費用を支援しました。うち193冊は「学生選書イベント」にて学生投票の結果選ばれました。



教育環境
の充実

父母・保証人
の支え

修学援助

学生生活
支援

○ 安心安全で豊かな学生生活を送るために

■課外活動団体への助成

2008年度より特定のテーマに合致する課外活動団体に助成金を贈呈しています。2024年度は「インクルーシブな社会の実現に向けて活動する団体」として、下記5団体に各10万円を贈呈しました。



2024年度助成金贈呈式▶



A ソフィアオリンピック・パラリンピック学生プロジェクトGo Beyond

Go Beyondは、東京オリンピック・パラリンピックを機に「共生社会」の実現を目指し活動する学生プロジェクトです。大会後も、文化や年齢、障がいの有無などに関わらず誰もが楽しめるパラスポーツに注目し、パラスポーツ体験会や、小中学生を主な対象とした多様性について考える授業、他大学や企業・自治体などと連携したイベントの実施などに取り組んでいます。

B wel-bee

wel-beeは「おしゃれに楽しく福祉を発信」をモットーに、先鋭的な取り組みやユニークな活動をされている福祉施設や団体などを取材し、web記事やフリーペーパーを通じて発信しています。頂いた助成金はフリーペーパーの発行費や取材費用に充てさせていただき、より多くの人に福祉に関心を持っていただけるように取り組んでまいります。

C きょうだい児支援サークル「連」

障がいのある子どもの「きょうだい」は、日頃何かと生きづらさを感じています。私達「連」は、そのような子ども達とともに思い切り楽しめる時間を過ごすことを目的として、サマーキャンプやクリスマス会等を企画し、1年を通して活動しています。今後も連の活動を継続していくため、頂いた助成金は有意義に使わせていただきます。

D 上智大学手話サークルでのひら

手話サークルでのひらでは、ろう者の先生をお招きし、学習会やボランティア活動に取り組んでいます。今年の東京デフリンピックにもボランティアとして参加する予定です。助成金は手話や聴覚障がいについて多くの方に知っていただくためのイベント開催などに活用します。これを機に、さらに手話の魅力を広められるよう努力してまいります。

E Givers

Giversは中南米の国であるエルサルバドルへの支援活動を中心に、国内でも環境保全活動としてビーチクリーン、子供支援として貧困やいじめに悩む子供を支援する団体への協力などを行っております。この度頂いた助成金を活かして、今後もメンバーで力を合わせ、新たな社会創りに取り組んでいく所存です。

■安否確認システムにおける家族サービス費用補助

地震や台風などの自然災害発生時に、学生と家族・大学間で緊急連絡や安否確認災害情報の配信などが可能な連絡システムの導入費用を補助しました。

■100円朝食・昼食オフピーク割引料金補助

四谷キャンパス内の食堂で朝食を100円で食べることができる「100円朝食」や、お昼休み前後の時間帯に割引価格で提供する「昼食オフピーク割引」の料金補助をしました。



■学生電話健康相談サービス導入費補助

学生の心身の健康をサポートするため、多言語対応の電話健康相談サービスの導入費を補助しました。24時間365日電話で医師や看護師などに相談でき、医療機関の紹介や心身の健康に関するアドバイスを受けることができます。

■目白聖母キャンパス昼食費購入補助

目白聖母キャンパスには食堂が無いので、パンの販売を委託し、学生がより安価で購入できるよう補助をしました。